



うちのイチ押し!

# ボランティアスタッフ募集

学習センターでお手伝いをしてくださる方を大募集します!!

## 総合生涯学習センター

- ① P R スタッフ (広報・情報提供サポートなど)  
※パソコンが使える人
- ② ビデオ上映会スタッフ  
(市民向けビデオ上映会の企画運営)
- ③ ランチャタイムコンサートの運営補助

## 阿倍野市民学習センター

- ① 講座スタッフ  
(講座・イベントの運営サポートなど)
- ② P R スタッフ  
(広報・情報提供サポートなど)
- ③ ビデオ上映会スタッフ  
(市民向けビデオ上映会の企画運営)

## 難波市民学習センター

- ① 講座スタッフ  
(講座・イベントの運営サポートなど)
- ② P R スタッフ  
(広報・情報提供サポートなど)
- ③ ビデオ上映会スタッフ  
(市民向けビデオ上映会の企画運営)

### 条件

交通費や活動に対する報酬はありません。ボランティア活動保険に加入します。(保険料は学習センターが負担します。)

### 対象

18歳以上(事前研修に参加できる方)で、希望する各センターで月1回以上活動できる人(1回2時間程度)

### 活動期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日(阿倍野市民学習センターについては臨時休館のため令和2年6月1日～令和3年3月31日)

### 募集人数

各センター10人程度

### 事前研修日程

#### 総合生涯学習センター

- ① 3月5日(木) 14:00～15:00 オリエンテーション  
(活動内容・施設説明)
- ② 3月12日(木) 14:00～16:00 活動見学、活動日程調整
- ③ 3月18日(水) 14:00～16:00 見学「3月ビデオ上映会」

#### 阿倍野市民学習センター

- ① 3月2日(月) 10:00～11:00 オリエンテーション  
(活動内容・施設説明)
- ② 3月7日(土) 10:00～12:00 講座見学・体験  
「さんぎゅ～!わたしのからだフェスタ」

#### 難波市民学習センター

- ① 3月12日(木) 14:00～15:00 オリエンテーション  
(活動内容・施設説明)
- ② 3月25日(水) 9:45～12:00 見学「春休みなんばこども映画会」

### 応募方法

募集チラシ裏面の応募用紙または各センターホームページの添付資料に記入のうえ、ファックスまたは郵送、もしくは各センターのホームページからお申し込みください。  
※ファックスで送られる場合は、ファックスが届いているか電話でご確認をお願いします。

### 締切

令和2年2月28日(金) \*先着順

### 応募先

活動を希望するセンターへ申し込み。

#### 総合生涯学習センター

〒530-0001  
大阪市北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5階  
☎06-6345-5020 ☎06-6345-5019  
HP <https://osakademanabu.com/umeda/access>

#### 阿倍野市民学習センター

〒545-0052  
大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-300 あべのベルタ3階  
☎06-6634-7951 ☎06-6634-7954  
HP <https://osakademanabu.com/abeno/access/>

#### 難波市民学習センター

〒556-0017  
大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル4階  
☎06-6643-7010 ☎06-6643-7050  
HP <https://osakademanabu.com/namba/access>



## おおさか歴史探訪 142

大阪の史跡や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

### 大阪ガラス発祥の地

—天満は国産ガラスの聖地—

切りガラスといえば江戸切り・薩摩切りを思い浮かべる方が多いでしょうが、昨年6月に大阪で開催されたG20で「天満切り」が各国首脳への贈答品として選ばれたことを憶えていますか。今年もたくさんの初詣の人々で賑わった大阪天満宮、その蛭子門の脇にはこのことに関連する「大阪ガラス発祥之地」という石碑が立っています。

宝暦年間(1751～64)、オランダ人からビードロ製造技術を習得した長崎商人の播磨屋(久米)清兵衛が大坂に移住して、天満宮の鳥居前で「玉屋」を開業し、酒杯・玩具・髪留めなどを製造販売し、その技を弟子たちに伝えました。これが大坂天満でガラス製造が盛んになるきっかけで、その後、明治時代の初めになっても、伊藤庄三郎が天満宮門前に店を構え、ランプ販売のほか精巧な切り作品の製作を行っていました。こうした由来を顕彰するため、昭和54(1979)年に大阪硝子製品協同組合がこの石碑を建立しました。

一方、板ガラスは鉄・コンクリートとともに近代建築に不可欠な素材です。天満橋1丁目にある明治4(1871)年完成の重要文化財・泉布観でも西面以外にはガラス窓が入っています。その国産化に挑んだ島田孫市(1862～1927)も天満(梅ヶ枝町)に島田硝子製造所を創業、明治35(1902)年にそれに成功します。そして島田は、三菱財閥二代目・岩崎彌之助の次男である俊彌と組んで明治39(1906)年に大阪島田硝子製造合資会社を設立することになりますが、経営方針の違いから二人は袂を分かち、両者は今日の東洋ガラス、AGC(旧旭硝子)につながっていきます。天満は国産ガラスにとって縁の深い土地といえるでしょう。

(大阪市教育委員会事務局 文化財保護課)



天満宮西側の蛭子門脇に立つ石碑